



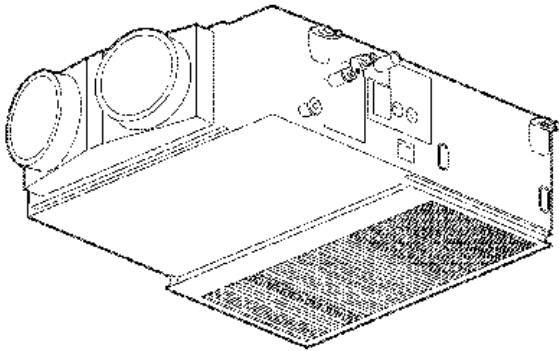
取扱説明書

パッケージエアコン

スカイエア

〈セバレート形〉

天井埋込カセット形
ビルトインHiタイプ



室内ユニット

冷媒R32/R410A対応シリーズ

FHBP40DC	FHBP71DC
FHBP45DC	FHBP80DC
FHBP50DC	FHBP112DC
FHBP56DC	FHBP140DC
FHBP63DC	FHBP160DC

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず貼着してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニットおよびリモコンに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。
保証番号は買の上りの販売店からお取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用の前に	
安全について	
必ずお読みください	1
ご使用前に	
必ずお読みください	2
各部の名前と働き	2

運転について	
運転の特性	3
複数台同時運転の場合	4
上手な使いかた	4

お手入れについて	
お手入れのしかた	
ヒヤのお手入れ	5
シーズン初め・終わりのお手入れ	7

知っておいてください	
調子がおかしいときは	8
別売品について	11
製品の種類と運転音	11
安全にお使いいただくために	12
アフターサービスと保証について	13
お客様ご相談窓口	裏表紙

ご使用の前に

運転について

お手入れについて

知っておいてください

上手に使って上手に節電

使用の前に、よくお読みの上、正しくお使いください

ここに示した注意事項は、下記の2冊知に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

<p>警告 誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。</p>	<p>注意 誤った取扱いにより、怪傷を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。</p>
---	--

●本文中に用いられる「絵表示」の意味は次のとおりです。

<p>絶対にしないでください。</p>	<p>絶対にぬれた手で触れないでください。</p>	<p>絶対に水にぬらさないでください。</p>	<p>必ず指示どおりに行ってください。</p>
---------------------	---------------------------	-------------------------	-------------------------

警告 使用上の注意事項

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、燃焼漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を避けて部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理工が作業に行われたことをリービスマンに証明の上、送電してください。



●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない

ベンジン・シンナーで本体をふかないひび割れ・感電・引火の原因になります。



●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



注意 使用上の注意事項

●ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。



ぬれた禁止

●エアフィルターや吸込グリルを固定するツマミを確実に取り付ける

エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



●高所作業をするときは足場に気をつける

足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



●エアコンを水洗いしない

漏水によって感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する

電流を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付りに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない

(交換用エアフィルターは除きます) 別売品は、当社指定以外のものは使用しない取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(表紙裏参照)



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付りに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

据付場所について

- 室外ユニットはまわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？
- 本機は高所設置用エアコンです。床面から1.8mを超える場所に据え付けてください。
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 印刷機など塵埃の立ちあがりやすいところ
 - 調理機など油の飛沫や蒸気の多いところ
 - 油圧機など油の多いところ
 - 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
 - 酸・アルカリ性蒸気の立ちあがりやすいところ
 - 工場など電圧変動の多いところ
 - 車庫・乾草への搭載など
 - 電磁波を発生する機械のあるところ
- 室外ユニットは防雪対策されていますか？ 積雪フードなど、詳細はお買い上げの販売店へご相談ください。

電気工事について

- 電気工事・0種接地工事の施工には資格が必要です。お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではおこなわないでください。
- 室外ユニットはエアコン専用の回路をご使用ですか？

運転音にもご配慮を

- 次のような場所を選んでいませんか？
 - エアコンの室外機に、分入え、送風音や振動が伝入しやすいようなところ
 - 室外ユニットの吹き出しからの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ
- 室外ユニットの吹き出し近くに障害物はありませんか？ 風雨による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になります。
- 使用中に異常音がある場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

ドレン配管の排水について

- ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？ 冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でこみ・ホコリなどが詰り、室外ユニットから水が漏れる原因になることがあります。運転を停止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

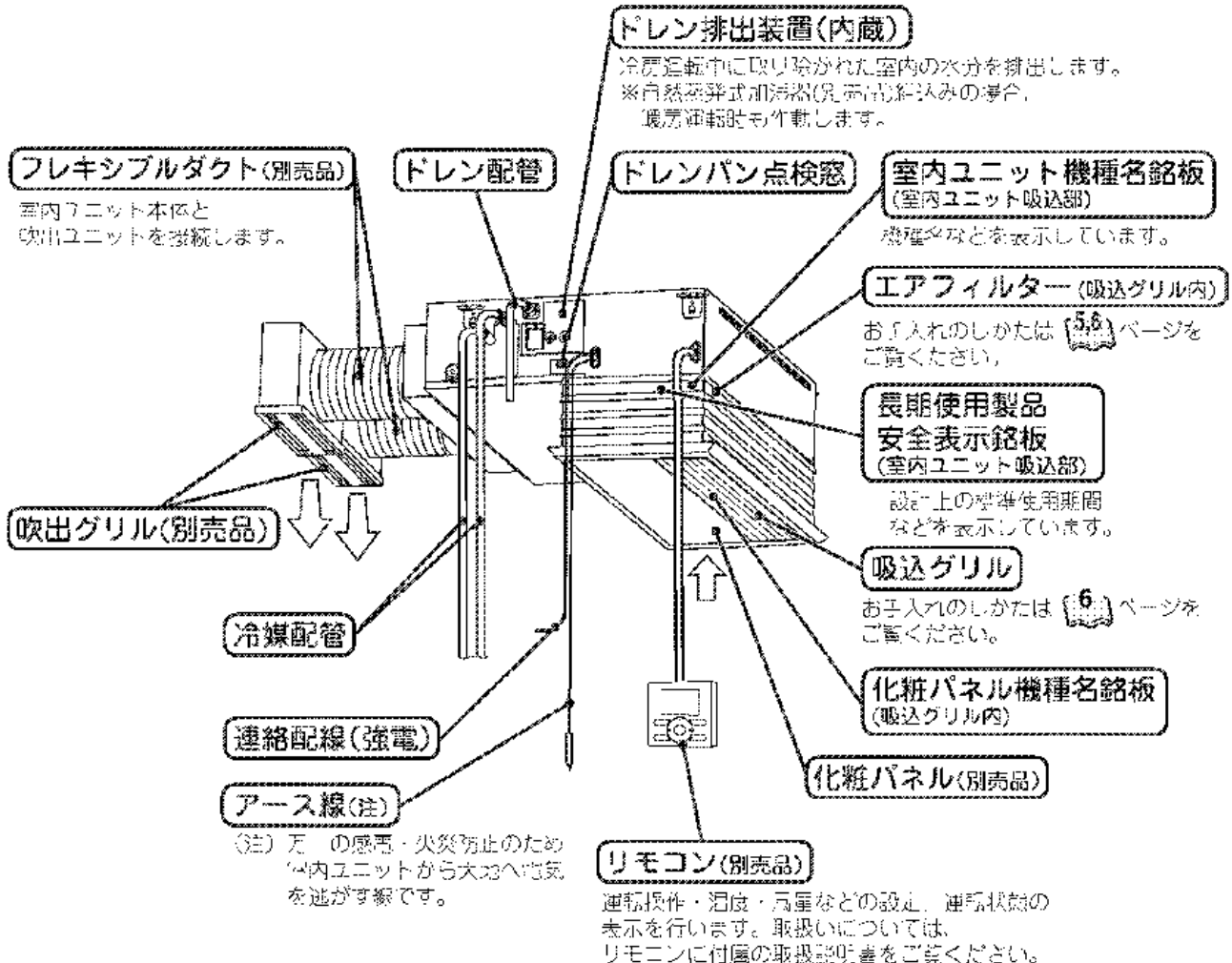
同時運転マルチシステムの説明

本室内ユニットは、次のいずれかのシステムでご使用ください。詳細はお買い上げの販売店にご確認ください。

	ペアシステムの場合	同時運転マルチシステムの場合
冷暖房 方式 タイプ	<p>●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・送風運転ができます。</p> <p>冷暖房兼用 室外ユニット</p> <p>室内ユニット</p> <p>リモコン</p>	<p>●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・送風運転ができます。</p> <p>冷暖房兼用 室外ユニット</p> <p>室内ユニット(接続台数2台の場合)</p> <p>リモコンは取付け不要です</p> <p>リモコン</p>

- 運転操作についてはリモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 同時運転マルチシステムの接続可能な台数については、お買い上げの販売店にご確認ください。

各部の名前と働き



ご使用前に

運転の特性

冷房運転の特性(冷房・自動冷房運転)

- 室内湿度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が付き冷房能力が低下することがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。除霜運転中に溶けた水が残るのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- 外気温度が高い場合、設定温度になるまで待機がかかります。

暖房運転の特性(暖房・自動暖房運転)

運転開始について



- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで待機がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転をします。

運転開始時 および 除霜運転 終了後

- お部屋全体を暖める湯気循環方式なので、運転を開始してから沸騰するまで、時間がかかります。室内ユニット内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転をします。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- そのときリモコンには「除霜/ホットスタート」が表示されます。

除霜運転 (室外ユニットの) 霜取り運転

- 室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるため除霜運転に自動で切りかわります。
- 沸騰が止まり、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。ワイヤレスリモコンの場合は、消音灯が止まり、室外ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- 約6~8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り変わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。( ページ参照)
- 特殊な運転のため、「チユルチユル」・「シュー」音などがする場合があります。( ページ参照)

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。(燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)
- 室内ユニットの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- 沸騰が天井にこもり、床下が寒いときは、サーキュレータ(室内循環ファン)のご使用をおすすめします。詳しくはお買い上げの取扱店にご相談ください。
- 室内湿度が設定湿度以上になった場合、室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)

マイコンドライ運転の特性

- 室内湿度を下げずに湿度を下げる運転を行うため、運転ボタンを押したときの室内湿度が設定湿度になります。そのとき風量・湿度を直接で設定するため、リモコンには風量・設定湿度の表示はされません。室内湿度と湿度を下げたいときは、冷房運転で室内湿度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。室内湿度が上がった場合、室外ユニットの風が止まる場合があります。
- 室内湿度が低い状態でマイコンドライ運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着くことがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。湿度が下がるのを防ぐため、直接でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。

風向調節のしかた

吹出グリル(別売品)をご使用の場合

- 風向調節



吹出グリル部の水平羽根を風を出したい方向に向けてください。冷風はやや上向きに吹き出るようにすると、部屋が冷えやすくなります。

お手入れのしかた

警告

- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



注意

- エアコンを水洗いしない
清浄によって感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

- お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



- エアフィルターや吸込グリルを固定するツマミを
確実に取り付ける
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



- 高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



おまじ

- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。
故障の原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けしないでください。
性能が低下し、熱交換器の凍結・水漏れの原因になることがあります。
- ロングライフフィルターは定期的に清掃してください。
- 高性能フィルター(別売品)は1年に1回交換してください。
エアフィルタにごみやホコリがたまると、風量が減って能力が低下します。

日常のお手入れ

本機は高所設置用エアコンです。足場に注意して、ロングライフフィルターを清掃してください。

ロングライフフィルターの清掃のしかた①

リモコンに「フィルターのお手入れ時期です」が表示されたら、清掃してください。

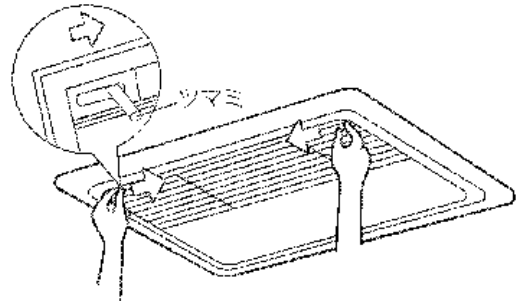
- 定時電通報すると表示します。
- 表示されるまでの時間を変更することができます。
汚れの多いところで使用される場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

汚れ	表示されるまでの時間
標準	2500時間(1年/台)
多い場合	1250時間(半年/台)

- 汚れがとれなくなりましたらロングライフフィルターを交換してください。
(交換用ロングライフフィルターは別売品です。)

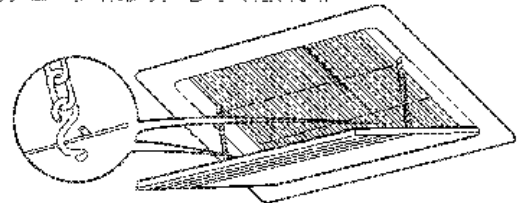
ページ参照

〈内側にスライドさせて開けるタイプ〉



チェーンがついている場合

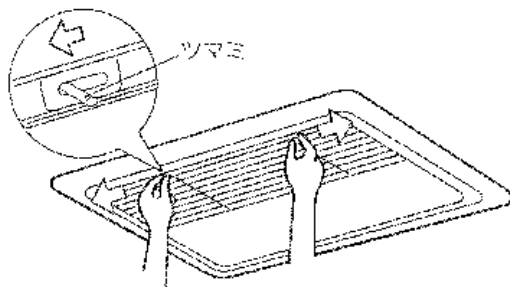
①チェーンを取り外してください。



1. 吸込グリルを開けます。

- (1) ツマミ2カ所を同時にスライドし、
ゆっくりに上方へ引き上げてください。

〈外側にスライドさせて開けるタイプ〉

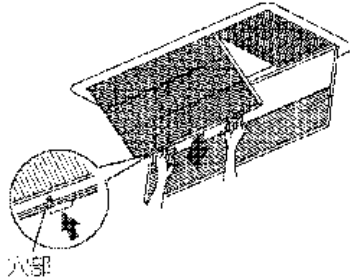


(次のページにつづきます。)

ロングライフフィルターの清掃のしかた?

2. ロングライフフィルターを取り出します。

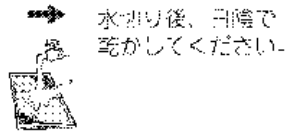
ロングライフフィルターの穴部を矢印の方向へ押し、ロングライフフィルターのツメを枠から外してください。



3. 清掃します。

汚れは電気掃除機または水洗いで清掃してください。

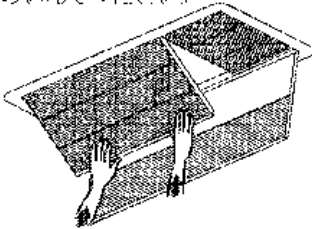
汚れがひどい場合、柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。



- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

4. ロングライフフィルターを取り付けます。

- ① ロングライフフィルターの数字と枠の数字があうように、取付位置を確認してください。
- ② ①にロングライフフィルターをあてて押しつけてください。
- ③ ②と同じ方法で枠にロングライフフィルターのツメをはめ込んでください。



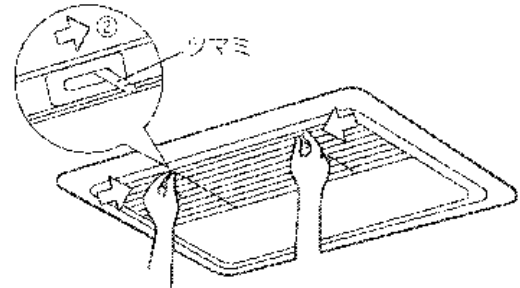
チェーンがついている場合

- ③ チェーンを取り付けてください。

5. 吸込グリルを閉めます。

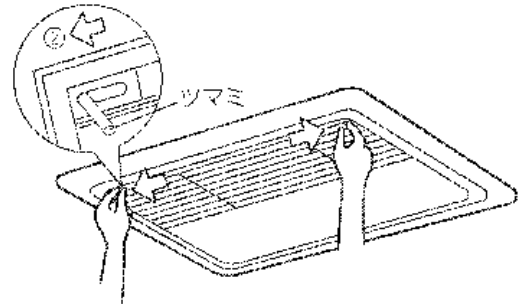
(外側にスライドさせて開けるタイプ)

- ① ツマミを外側にスライドさせ、吸込グリルをはめ込んでください。
- ② ツマミが動かなくなるまで内側にスライドさせ、吸込グリルが固定されているか確認してください。



(内側にスライドさせて開けるタイプ)

- ① ツマミを内側にスライドさせ、吸込グリルをはめ込んでください。
- ② ツマミが動かなくなるまで外側へスライドさせ、吸込グリルが固定されているか確認してください。



6. リモコンの「フィルターのお手入れ時期です」の表示を消します。

- メインメニューよりフィルターリセットを行ってください。
 - (運転中・停止中)のどちらの状態でも表示を消すことができます。
- 詳細はリモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

お手入れについて

吸込グリル・吹出グリル・外装・リモコンの清掃のしかた

- 柔らかい布でからがさしてください。
- 汚れが取れないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布で汚れをふき取ったあと、乾いた布でからがさしてください。



- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

シーズン初め・終わりのお手入れ

シーズン初め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物は風量低下による能力低下や運転音増大、機器の故障の原因になることがあります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- 本機は高所設置用エアコンです。足場など注意してエアフィルターを清掃してください。
- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
(清掃のしかたは **5.6** ページ参照)
- エアフィルターと吸込グリルを固定するツマミが確実に取り付けてあることを確認してください。
- 清掃後は、電源を入れてリモコンのメインメニューよりフィルターリセットを行ってください。

6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

- 機材保護のためと、起動を円滑にするためです。
- 電源ブレーカーを入れると、リモコン表示部に文字が表示されます。

電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

- 機種シリーズによっては、機材保護のため、起動動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内暖房運転をした場合、機材保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。
！運転は据付時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONするたびにを行います。
暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを温めないことをおすすめします。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防止するためです。

電源ブレーカーを遮断してください。

- 電源ブレーカーが入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。
節電のためにも電源を遮断してください。
- 電源ブレーカーが遮断されると、リモコン表示部の文字が消えます。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- 本機は高所設置用エアコンです。足場など注意してエアフィルターを清掃してください。
- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
(清掃のしかたは **5.6** ページ参照)
- エアフィルターと吸込グリルを固定するツマミが確実に取り付けてあることを確認してください。



- 室内ユニットを数シーズンご使用になると内部の熱交換器やドレンパンが汚れ、性能低下や水漏れなどの原因になることがあります。
内部清掃には専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

次の場合は、故障ではありません。

●電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

機種シリーズによっては、機器保護のため、この運転動作を行う場合があります。

電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室外ファンは約10分間停止後に運転します。

上記運転は指針時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/O\することに行います。

暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

	症状	原因	確認内容
運転しない	停止後、すぐに運転したとき	機材に無油がかからないようにコントロールしているためです。	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。 3分後に運転を自動で開始します。
	温度調節ボタンを押して、すぐ元の設定に戻したとき		リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。
	リモコンに集中管理中が表示され、操作ボタンを押すと表示が数秒ほど点滅するとき	集中機器により、コントロールされているためです。	表示の点滅はそのリモコンで操作できないことを示します。
	電源ブレーカーを入れ、6時間以内に暖房運転をしたとき	機器保護のためです。 (「ページ」参照)	約10分間停止後に室内ファンは運転します。 (6時間以上に電源ブレーカーを入れてください。)
	室外ユニットが停止	室内温度が設定温度に達しているためです。 室内ユニットは送風運転を続けます。	(冷房運転時) 設定温度を下げてください。 (暖房運転時) 設定温度を上げてください。 しばらくして運転開始すれば正常です。
	リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示され、音が止まる	室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるので、除霜運転を自動でしているためです。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
ときどき止まる	リモコンに「U4」「U5」が表示され、停止するが数分で運転を再開する	熱交換エアコン以外の機材からの電気雑音(ノイズ)によりユニット間の通信が遮断されて停止しているためです。	電気雑音(ノイズ)がなくなると運転を自動で再開します。
	風量調節ボタンを押しても風量が変わらない	(冷房運転時)水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」または微風運転になることがあります。 (暖房運転時)室内温度が設定温度に達したときは室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。風量が変わるまで10分ほどかかります。また、除霜運転中の場合、冷圧が当たらないよう室内ユニットは送風運転を停止します。	しばらくすると、風量を変えることができます。 (マイコンドライ運転は風量設定)できません。 設定温度を上げてください。 しばらくすると風量が変わります。 (「3」ページ参照)
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき (油分やホコリの多い場所)	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、湿度ムラが生じるためです。(※1)	視門清掃を確認してください。
	除霜運転中および除霜運転終了後の暖房運転に切り変わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。	リモコンに「除霜/ホットスタート」の表示が出ていれば除霜運転中です。
音が出る	冷房時や除霜時の「シュー」というかきかたな連続音や除霜時の「チュルチュル」という音	エアコン内部にガス(冷媒)が流れている音です。	—
	運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音または流れが変わる音です。 暖房運転時は自動で除霜運転に切りかわりリモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。

●冷房運転の特性・暖房運転の条件・マイコンドライ運転の特性(「3」ページ)をご覧ください。

(※1) 室内ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買い上げの販売店にご依頼ください。

次の場合は、故障ではありません。

症状	原因	確認内容
音が出る	運転中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな音	ドレン排出装置が動作している音です。 (※2)
	運転中と運転停止後の「ピンピン」というキジミ音	樹脂部品が温度変化により収縮するためです。
ホコリが出る	長時間運転したあと、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。
においが出る	運転中	部屋のにおい・たばこのにおいなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。
よく冷えない	マイコンドライ運転中	マイコンドライ運転は、室内温度をできるだけ下げずに湿度を下げる運転をするためです。

●冷房運転の特性・暖房運転の特性・マイコンドライ運転の特性(3ページ)をご確認ください。

(※2) ●冷房運転中に取り除かれた空気の水分を排出します。

●自然蒸発式加湿器(販売品)組み込みの場合は暖房運転時もお手入れされます。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく運転しない	電源ブレーカーが遮断されていませんか？	●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないでお買い上げの販売店にご連絡ください。
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再度運転してください。
運転するがすぐに止まる	室外・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房能力や暖房能力が低下し電気のコストがかかります。 また、吹出しなどに影響する原因になることがあります。 (56ページ参照)

症状	原因	処置
よく冷えない、よく暖まらない	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。障害物がある場合、風量低下や吹き出した風を吸い込み、能力低下や機器の故障の原因になることがあります。電気のムダ使いにもなり、運転音増大や機器が停止する原因になることがあります。
	エアフィルターがこびりついていませんか？	エアフィルターを清掃してください。エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房能力や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。また、吹出しなどに影響する原因になります。 (156 ページ参照)
	設定温度は適正ですか？	適正な温度・風量・吹出方向に設定してください。
	設定風量が「弱」になっていませんか？	
	風の吹き向きは適正ですか？	
	窓や扉が開いていませんか？	窓や扉をしっかり閉めてください。
	空気扇を運転されていませんか？	—
(冷房時) 直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。	
(冷房時) 在室人数が多すぎませんか？	—	
(冷房時) 室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？	—	
運転/停止ボタンを押さないのに運転・停止した	入切タイマー運転をしていませんか？	リモ/無効設定口面で「無効」を押してください。(リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。)
	遠方制御機器を接続していませんか？	停止を指示した集中管理室などへ連絡・確認をしてください。
	集中管理中の表示が点灯していませんか？	—
	リモ自動復帰を設定していませんか？	運転/停止ボタンを押して停止してください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。このとき、症状と機種名(保証書または室内ユニット機種名銘板(126 ページ参照)に記載)をお知らせください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

警告

- 異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する。異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する。	電源を遮断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源を遮断してください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご購入のときには弊社純正品をご指定ください。ただし互換品はご用意できないものがあります。
詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

警告

- 別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。(裏表紙参照)



交換用別売品

- 交換用ロングライフフィルター ……汚れが取れなくなったとき、交換してください。

別売品

- 自然蒸発式加湿器 ……室内を適度な湿度に保ち、快適な暖房運転ができます。
- 高性能フィルター ……捕集しにくい微細なチリやホコリを捕集し、空気を高度な清浄度に保ちます。
- フィルターチャンバ ……ロングライフフィルターと高性能フィルターを同じに取り付けることができます。
(ロングライフフィルター・高性能フィルター)

製品の種類と運転音

項目		機種	FHBP40形	FHBP45形	FHBP50形	FHBP56形	FHBP63形
種 類	種	種	冷暖房兼用形				
	種	種	分離形				
	種	種	空冷式				
	種	種	直接吹出形				
類	類	類	3.6	4.0	4.5	5.0	5.6
	類	類	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3
運転音 (dB)	室内ユニット		63	60	63	63	63

項目		機種	FHBP71形	FHBP80形	FHBP112形	FHBP140形	FHBP160形
種 類	種	種	冷暖房兼用形				
	種	種	分離形				
	種	種	空冷式				
	種	種	直接吹出形				
類	類	類	6.3	7.1	10.0	12.5	14.0
	類	類	7.1	8.0	11.2	14.0	16.0
運転音 (dB)	室内ユニット		63	63	64	68	68

(注) ●運転音は、S B 8616 : 2015に準拠した値です。(ダクトの取付例での値を記載しています)
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。


安全にお使いいただくために

- 本機は業務用エアコンです。
「点検周期」と「保守周期」の一覧にしたがい適切な保守行為を行ってください。(14 ページ表1参照)
- 家庭用として設計上の標準使用期間を認めて仮用する場合は、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示銘板に表示しています。
(銘板位置は2 ページ参照)
設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により火災の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

	<p>※【設計上の標準使用期間】 10年</p> <p>設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。</p>
---	---

※設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や室温など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は室内ユニットの機種名銘板の右下四番4行で表示してあります。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。

■標準使用条件 日本冷凍空調工業会自主基準による

	条 件	規 定	
運転条件	電源電圧	单相200V または三相200V	
	周波数	50/60Hz	
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)	
	冷房室内湿度	47%(乾球温度19℃)	
	冷房室外温度	35℃(乾球温度)	
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24℃)	
	暖房室内温度	20℃(乾球温度)	
	暖房室内湿度	59%(乾球温度15℃)	
	暖房室外温度	7℃(乾球温度)	
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6℃)	
	設置条件	製品の銘板説明書による標準設置	
	負荷条件	戸型	木造平屋、南向き和室、居室
部屋の広さ		機種能力に見合った広さの部屋(骨数)	
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房：6/12日から9/12日までの152日 暖房：10/28日から4/14日までの169日間	
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間 F 暖房：7時間 F	
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間/年 暖房：1,183時間/年	

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご利用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。



●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。



●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



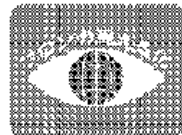
フロンについて

本機に使用される冷媒種、およびGWP(地球温暖化係数)は下表になります。

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R32	675
HFC	R410A	2090

本機が接続されているシステムの冷媒種は、室外ユニットに表示されています。

地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄する場合にはフロン類の回収が必要です。



この表示はエアコンに冷媒化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と購入年月日
 - 故障状況 (できるだけ詳しく (リモコンの表示内容もお知らせください。))
 - ご住所・お名前・お電話番号
- 保証書に記載してあります。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。当社は、この室内ユニットの補修用性能部品を製造打ち切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

室内ユニットを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水漏れの原因になることがあります。分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめいたします。

■点検と保全周期の目安について

【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①頻繁な運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(運転により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/1時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10回/日、2500回/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

一部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	一部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ(電磁弁・四方弁など)	1年	20,000時間
電動機 (ファン・ドレンポンプ月など)		20,000時間	センリー (サーミスタ・圧力センサーなど)		5年
プリント基板類		25,000時間	ドレンパン(※)		5年
熱交換器		5年	リモコンおよびスイッチ類	1年	25,000時間
電子膨張弁		20,000時間	ファン		室外:10年 室内:13年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。
 また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
 注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると消耗期間が短くなる場合があります。
 ※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

一部品名	点検周期	交換周期	一部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	クランクケースヒーター	1年	8年
高性能フィルター		1年	自然蒸発式加湿器(※)		3年
ヒューズ		10年	ドレンパン(※)		8年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。
 注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると消耗期間が短くなる場合があります。
 ※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

移設などでエアコンを移転・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排」排出法に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・中間管理が義務付けられています。

●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。

いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお役かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をご覧ください。

●保証書内に無料修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

知 (How to) Service

お客様ご相談窓口


商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の「ご購入店」へご連絡ください。

ご購入店名 _____ TEL _____ 振付年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター
(お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に「155」をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

 0120-88-1081 (全国共通フリーダイヤル)
FAXでのお問い合わせ: 0120-07-0881 (全国共通フリーダイヤル)
<http://www.daikinco.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。

(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・付属品等の販売など)

1205

ダイキン工業株式会社

本社 大阪市北区中崎西 1-74番12号 橋田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南 1-118番1号 JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

3PN16836-25C M15A036 (1512) IFSI